

平成22年度新人研修プログラム

研修名／日時 ( )内は、研修時間	目 的	内 容
フォローアップ研修 ／4月5日～5月28日	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 病院の概要を知り、組織の一員としての心構えをもつ</li> <li>2. 入院から退院までに求められる医療と看護を知る</li> <li>3. 安全・安楽な看護を提供するために必要な知識・技術の基本がわかり、学ぶ姿勢を身につける</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. off-JT として、各部署で看護実践するために必要な知識・技術を根拠をもって学ぶために、当院に必要な看護を学習する</li> <li>2. OJT として、フォローアップ研修期間中6日間、一つの部署では学ぶことができない幅広い臨床実践能力を学習するために、外科・内科のいずれかのコースを経験し、看護の実際を学ぶ</li> </ol>
看護技術研修 (安全・安楽な看護技術) 8:30～17:00 (8時間) ／①6月25日(金) ②8月20日(金) ③12月10日(金)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 技術を支える3つの要素に基づいて自分の技術を振り返る機会にする</li> <li>2. 臨床で多く用いられ看護技術を確実に習得し、患者に信頼される看護実践をする</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 各部署で経験する看護技術を選択し、を選択し、原理・原則を再確認するとともに、未熟な技術を習得する</li> <li>2. 看護技術は各部署の状況を確認し、教育委員会が決定する</li> </ol>
3ヶ月研修 ／6月4日(金) 13:00～17:00 (4時間) 看護の役割 ストレスマネジメント	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ストレスの背景と心の危機について理解を深め、心のケアの実践能力を高める</li> <li>2. 看護の役割を考え、実践する方法を学ぶ</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ストレスと、それを解消するための方法について考え、リフレッシュできるようにする</li> <li>2. ストレスの発散方法を体験する</li> <li>3. 3ヶ月の経験から、看護の役割を学ぶ</li> </ol>
6ヶ月研修(殻割研修) ／10月8日(金) 8:30～17:00 (8時間)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 採用後、6ヶ月を振り返り、その間の戸惑い・疑問・不安を解決し、明日からの活力を得る</li> <li>2. できること、できないことを正しく認識し、学習課題を持ち、取り組むことができる</li> <li>3. ラダーレベルIの到達目標が再認識できる</li> <li>4. 科学的根拠に基づき、チーム医療における看護の役割がわかる</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 6ヶ月の経験から、困っていること、悩んでいることを共有し、解決方法を見出せるようにグループワークを行う</li> <li>2. クリニカルラダー評価をし、現在の課題を客観的にとらえる</li> <li>3. 講義:「チーム医療について」看護部長</li> </ol>
1年後研修(巣立ち研修) ／H23. 3月18日(金) 8:30～17:00 (8時間)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 1年間を振り返り、次年度に向けての目標を明確にする</li> </ol>	<p>クリニカルラダー評価をし、2年目に向けて、自己の課題を明確にする</p>
看護技術チェックリスト	<p>各時期における自己の看護技術能力の評価を行い、現時点の自己能力を知るとともに、今後強化すべき点について理解する</p>	<p>4月23日の病棟配置から2週間は、毎日自己チェックし、プリセプターの指導を受ける。同じ技術を繰り返すときには、いつ評価するのか、相談の上、決定する</p> <p>1・3・6・12ヵ月後に、行い、次年度の課題とする</p>